



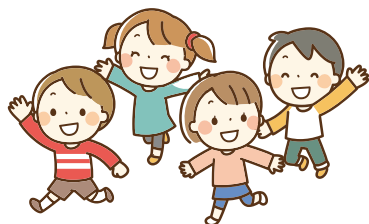
今

昔

おおたかの森駅周辺の変化。  
○の踏切は昔も今も変わっていません

## 市民と日本共産党の共同で実現しました

- 「高すぎて払えない」という声にこたえて国保料の負担軽減案を議会提案
- 妊娠・出産・育児へのサポート体制の拡充と産後ケアの創設
- 子どもの医療費助成を中学卒業まで拡大
- 保育園、学童保育の大幅拡充、保育士・指導員の処遇改善
- 就学援助制度の拡充と子どもの学習支援の創設
- サポート教員の大幅拡充と英語専科教員の安定雇用
- 風疹・はしかへのワクチン接種助成の導入と保健センターの職員充実
- 防災対策及び備蓄品の充実、消防本部移転の促進
- 年金で入れる特別養護老人ホームの増設などなど



## 学校のエアコン設置へ

公立保育所では、お昼寝を行う部屋ですらエアコン未設置というなかで、保護者とともに現場の実態を伝え続けた日本共産党。

小中学校では、市長や他会派が扇風機、ミストシャワーの設置でごまかしを図る中、子どもと教員の要望をまっすぐ提起しました。「子どもを甘やかせるな」「贅沢だ」とのヤジで質問が聞こえない時も。しかし、市民との運動を広げ、県下でもいち早く、市内全小中学校の教室へのエアコン設置を実現できました。

4期16年を迎えた井崎市政。人口比で県下一、市職員が少ない流山市。虐待対応や保健・健診、災害弱者への支援体制が不十分です。しかし、今年3月議会で提案された特別な職員採用は外国人観光客用…。日々の市民生活とかけ離れた市政「経営」に不満は一杯です。

## 『子育てするなら、流山』を 実感できる街づくり

「母になるなら…」巨大広告を始めて9年、経費は累計6千万円弱にも。しかし保育の待機児童は増加、学校・学童保育はすし詰めです。

学校・学童保育の規模適正化、インフルエンザワクチンへの補助創設、ひとり親家庭医療費助成の現物給付など『子育てするなら、流山』と実感できる街づくりへご一緒に力をあわせましょう。

## くらし応援、老後も安心の街づくり

難病見舞金を削減する一方で、TX沿線開発は、事業の赤字補てんで70億円余も拠出。その他にも、5年間で観光には2億5千万円かけながら、救急医療は8千万円しかかけず崩壊寸前に。優先順位を切り替え、国保料の負担軽減、奨学金創設、救急医療の維持・継続、医療・介護の連携などあふれる市民要望に真正面からこたえます。

## 新しい街も、元々あった街も、 「人がつながる」街づくり

人口急増や高齢化の進展のもと、どこでも課題が山積。しかし、市は「なんでも自治会まかせ…」です。通学路の安全やバス交通の再整備、防災対策の向上など地域と血が通う行政に改め、人がつながりあえる街をつくりまします。



開発優先からくらし第二に、市民と歩む市政を

## 市民からの陳情への態度

会派 議員名 ○：賛成 ×：反対 -：棄権 欠：欠席 ※議長は表決に参加しない。	日本共産党				流政会						自由民主党			市民クラブ			公明党			菅野浩考	阿部治正					
	乾紳一郎	小田桐仙	徳増記代子	植田和子	森亮二	青野直	笠原久恵	近藤美保	坂巻儀一	野田宏規	大塚洋一	石原修治	中村彰男	海老原功一	中川弘	加藤啓子	藤井俊行	西川誠之	楠山栄子			森田洋一	西尾段	秋間高義	斉藤真理	戸辺滋
流山おおたかの森駅周辺のパチンコ店建設に関する陳情書 第1項流山おおたかの森駅周辺のパチンコ店建設の中止への働きかけ(H27.9)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
就学援助制度の拡充を求める陳情書 第2項クラブ活動費、生徒会費、PTA会費の支給を実施してください(H28.9)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
国基準の小学校6年生までの学童保育受け入れ早期実現に関する陳情書(H30.6)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	○
東海第二原発の運転期間延長を行わないよう求める意見書を提出することを求める陳情書(H30.9)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	○	○